

第38回大阪市廃棄物減量等推進審議会会議要旨

1. 日 時 平成19年10月16日(火) 午後2時30分から午後4時30分

2. 場 所 大阪キャッスルホテル 7階「梅の間」

3. 出席者

(委員)

郡瀧会長、大橋委員、小畑委員、武智委員、中根委員、花嶋委員、原田委員、
東元専門委員、宮川委員、村田委員

(環境局)

辻企画担当課長、深津廃棄物処理計画担当課長、村山収集輸送効率化担当課長、山本減量美化担当課長
谷一般廃棄物規制担当課長

4. 議 題

「大阪市における事業系ごみ減量施策のあり方」について

- ・中小規模事業者の減量施策についての今後の方向性について
- ・アパート・マンションの収集について

5. 議事要旨

(1) 環境局から資料に基づき、審議内容の項目整理、前回審議会における審議内容、中小規模事業者におけるごみ減量施策についての今後の方向性及び、アパート・マンションの収集について説明を行った。

(2) 意見等の概要

- ・紙ごみの減量・リサイクルにあたっては、民間ルートの整備状況や機密文書の取扱いなども考慮する必要がある。
- ・集団回収は、市の支援と回収物の対価等により、地域の活動としてのメリットがあり、排出事業者にも、ごみを分別することでメリットになるようなシステムづくりが必要。
- ・アパート・マンションにおいて、居住者の入れ替わりの多いところは、ごみの分別を周知徹底しにくい。所有者や管理者の意識を高めるようにすべき、また、入居時にもごみ排出のルールを周知すべきである。
- ・建物の所有者・管理者にごみ問題に対する意識差があり、早急に分別指導を強化すべきである。また、コンプライアンスの問題として、行政が積極的に取り組むべきである。

(3) 今後の対応

- ・審議してきた大規模建築物における減量施策や中小規模事業者における減量施策等についてのご意見をとりまとめた上で、答申に向けた素案について審議を行う。

6. 会議資料

- (1) 第38回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 資料
- (2) " 参考資料
- (3) 京都市廃棄物減量等推進審議会
第3回京都市事業系ごみ減量対策検討部会(抜粋) 参考資料